

新井卓 / ARAI, Takashi



© Anton Orlov 2015

1978年神奈川県川崎市生まれ。現在、川崎市、岩手県遠野市を拠点に活動する。

写真の原点を探るうち最初期の写真術・ダゲレオタイプ（銀板写真）を知り、試行錯誤ののち同技法を習得。対象に出会ったときの感覚を、時間と空間を超えて、見るものに生々しく伝えることのできる「小さなモニュメント」として、自身のメディアとしてきた。核の歴史に興味を持ち始めた2010年ごろから、第五福竜丸の船体や元船員に出会い、その後、福島、長崎、広島、と撮るべき対象に自然に巡りあってきた。代表的なシリーズに、福島第一原発事故後の相双地域をドキュメントした「Here and There - 明日の島」、アトミック・エイジの記憶と記念物を巡る「百の太陽に灼かれて／EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」、若者のインタビューとポートレート・シリーズ「明日の歴史」のほか、なるべく毎日撮影をつづける「毎日のダゲレオタイプ・プロジェクト／Daily Daguerreotype Project」などがある。

近年は映画制作、執筆、講演のほか多岐にわたる活動を展開。これまで、ボストン美術館、サンフランシスコ近代美術館、森美術館、東京国立近代美術館ほか内外の多数の展覧会に参加した。2014年に英国ソースコード・プライズ（現 The Solas Prize）、2016年には第41回木村伊兵衛写真賞、日本写真協会賞新人賞、神奈川文化賞未来賞を続けて受賞。2018年、映像詩『オシラ鏡』で第72回サレルノ国際映画祭短編映画部門最高賞。スミソニアン博物館、ボストン美術館、サンフランシスコ近代美術館、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、ギメ美術館ほか多数の美術館に作品収蔵。単著に『MONUMENTS』（PGI、2015）など。2017年から2019年まで、国立民族学博物館館外研究員（放射線影響をめぐる「当事者性」に関する学際的研究）。

所属ギャラリー（連絡先）

東京： PGI

〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-4 TKBビル3F

電話: 03-5114-7935

www.pgi.ac

パリ： Galerie Camera Obscura

268, Boulevard Raspail, 75014 Paris

電話: +33-1-4545-6708
www.galeriecameraobscura.fr/

ロンドン: **Purdy Hicks Gallery**
25 Thurloe St, Kensington, London SW7 2LQ
電話: +33-1-4545-6708
www.purdyhicks.com

北京: **泰吉軒 (Timeless Gallery Beijing)**
北京市西城区白云路6号云起时珍宝花园A1-8
電話: +44-20-7401-9229
<http://www.timeless-gallery.com>

賞歴

- 2019 遠野市教育文化振興財団 教育文化特別賞
- 2018 第72回サレルノ国際映画祭 短編部門最高賞 (映像詩『オシラ鏡』)
- 2017 第66回 横浜文化賞文化・芸術奨励賞
- 2017 第46回 川崎市文化賞アゼリア輝賞
- 2016 第41回 木村伊兵衛写真賞
- 2016 第65回 神奈川文化賞未来賞
- 2016 日本写真協会賞新人賞
- 2014 The Source-Code Prize, イギリス
- 2013 Image Object 大賞, The Center for Alternative Photography, ニューヨーク

主な職歴

- 2019-現在 遠野文化研究センター 客員研究員
- 2017-2019 国立民族学博物館 館外研究員 (放射線影響をめぐる「当事者性」に関する学際的研究)
- 2017-現在 公益財団法人原爆の図丸木美術館 評議委員
- 2014-2017 和光大学表現学部芸術学科 非常勤講師
- 2012-2014 日本写真芸術専門学校 非常勤講師
- 2010-2011 東京総合写真専門学校 非常勤講師
- 2009-2013 京都造形芸術大学通信教育部写真コース 非常勤講師
- 2006-現在 新井卓写真事務所 代表

学歴

- 2004 同校 卒
- 2002 東京総合写真専門学校 第二学部写真芸術学科 入学
- 2001 同校 中退
- 2001 国際基督教大学教養学部理学科 入学
- 1997 神奈川県立多摩高等学校 卒
- 1994 川崎市立東高津中学校 卒
- 1991 川崎市立東高津小学校 卒

主な個展

- 2019 「Imago / イマーゴ」 PGI、東京
- 2019 「Tomorrow's History」 (「Camera and Canvas」関連展) カールスルーエ州立美術館、ドイツ
- 2017 「明日の歴史のために」 ギャラリー・オフグリッド、福島
- 2017 「Cent Soleils」 Galerie Camera Obscura、Mois de la Photo 2017、パリ

- 2017 「横浜フォトアニュアル2017: Bright was the Morning / ある明るい朝に——新井卓展」
横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜
- 2016 「明日の歴史のために」 ギャラリー交差611、広島
- 2016 「MONUMENTS」 木村伊兵衛写真賞受賞作品展 コニカミノルタプラザ、東京
- 2015 「遠野的召喚: 新井卓銀版撮影展」 泰吉軒 (Timeless Gallery)、北京
- 2015 「Daily D-type」 Stills、エディンバラ (ACTINIC Festival/大和日英財団)
- 2015 「竜の鱗 —— アトミック・エイジのモニュメント」 東京都立第五福竜丸展示館、東京
- 2014 「Silverplated」 Artpace San Antonio, テキサス州サン・アントニオ
- 2014 「百の太陽に灼かれて/EXPOSED in a Hundred Suns」 Photo Gallery International、東京
- 2013 「D-type Story」 泰吉軒 (Timeless Gallery)、北京
- 2013 「特別企画展: 百の太陽に灼かれて/EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」
新井卓銀板写真展尼崎文化センター、兵庫
- 2013 「彼岸の花/Flowers in Equinoctials」 空蓮房、東京
- 2013 「Here and There - 明日の島」 銘醸館、南相馬市
- 2012-3 「EXPOSE2012: 百の太陽に灼かれて/BEING EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」 KEN、東京
- 2012 「福島から広がる視線2 MIRRORS HALF ASLEEP 新井卓銀板写真展」 丸木美術館、東松山市
- 2012 「Here and There — 明日の島」 銀座ニコソロン、東京、大阪ニコソロン (巡回)、大阪
- 2011 「Dream of Images」 泰吉軒 (Timeless Gallery)、北京
- 2011 「夜々の鏡/Mirrors in Our Nights」 川崎市市民ミュージアム、川崎
- 2011 「光、礫 (いし)、水」 - ダゲレオタイプ、拾得物、映像による<滝>
明治大学生田図書館 Gallery ZERO、川崎
- 2009 「Flawless Lakes」 Project Basho、フィラデルフィア
- 2008 「Toward Lakes,」 engawa、葉山町
- 2007 「ハーフミラー/Half Mirror」 Gallery Space Roundish、大阪
- 2006 「鏡ごしのランデヴー/Rendezvous on Mirror」 横浜美術館、横浜
- 2001 「(海、空白の・・・)」 Cafa Cabiria、東京

主なグループ展

- 2019 「Feel the Sun in Your Mouth: Recent Acquisitions」
ハーシュホーン博物館と彫刻の庭, ワシントンDC
- 2019 「Visible Memories of Technologies」 全北 (チョンブク) 大学自然史博物館, 全州
- 2019 「VOCA展」 上野の森美術館, 東京
- 2018 「<三> 三人展 新井卓 小原一真 片桐功敦」 ギャラリー交差611 + 旧日本銀行広島支店, 広島
- 2017 「DAY TO DAY 日々の記録から学ぶ写真 新井卓×原美樹子」 GALLERY FOREST, SPACE 56,
東京総合写真専門学校, 横浜
- 2017 「KAERU」 Chi-Wen Gallery, 台北.
- 2017 「The Power of Images: MAST Collection. An iconic selection of photographs on industry
and work」 MAST Foundation, ポローニャ
- 2017 「Photobook Phenomenon」 Centre de Cultura Contemporània, バルセロナ
- 2016 「Unclear Nuclear」 URANO, 東京
- 2016 「第11回上海ビエンナーレ」, 上海
- 2016 「Japanese Photography from Postwar to Now」 サンフランシスコ近代美術館
- 2016 「?The Image as Question: An exploration of evidential photography」
マイケル・ホッペン・ギャラリー, ロンドン
- 2016 「Samuel F. B. Morse's Gallery of the Louvre and the Art of Invention」

- ピーボディ・エセックス博物館,セイラム (アメリカ)
- 2016 「In the Wake 震災以後：日本の写真家がとらえた3.11」 アジア・ソサエティ, ヒューストン
- 2016 「Paradise Lost」 ヴィラ・ロット美術館, ウルム, ドイツ
- 2016 「Festival Photo la Gacilly」 ラ・ガシー, フランス
- 2016 「Memory of the Future: Photographic dialogues between past, present and future」
エリセ美術館, ローザンヌ
- 2016 「東京写真月間2015 日本写真協会賞受賞作品展」 フジフィルム・スクウェア, 東京
- 2016 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」 Japan Society, ニューヨーク
- 2016 「第3回 IMAGINE FUKUSIMA —— 新井卓 + 開発好明」
コートギャラリー国立、東京 (WATERMARK arts and crafts企画)
- 2015 「To What End?」 カメラ・オーストリア, グラーツ
- 2015 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」 ボストン美術館, ボストン
- 2014 「これからの写真」 愛知県美術館, 名古屋
- 2014 「写真とことば、記憶の種 福島—東京」 世田谷生活工房, 東京
- 2013 「六本木クロッシング2013：アウト・オブ・ダウト展」 森美術館, 東京
- 2013 「IO-1: Image Object - International Contemporary Daguerreotypes Exhibit」
The Center for Alternative Photography, ニューヨーク
- 2012 「OVER THE REALITY」 Gallery Terra Tokyo, 東京
- 2012 「写真の現在4 - そのときの光、そのさきの風」 東京国立近代美術館, 東京
- 2011 「EXPOSE 死の灰」 KEN, 東京
- 2011 「新井卓+横浜市写真師会 美術館のなかの写真館プロジェクト」 横浜美術館, 横浜
- 2010 「Immemorial Foreseeing - 遠い昔の予感」 Fellini Gallery, 上海
- 2009 「Héritages de Daguerre」 Association Louis Daguerre, プリ市庁舎, フランス
- 2007 「City Panoramic」 san art, ホーチミン・シティ
- 2004 「洋上の浮子、花の筏」 横浜赤レンガ倉庫, 横浜
- 2003 「映像詩 Aria」 日吉アートアンドパフォーマンスプロジェクト, 慶応義塾大学, 横浜

グラント／滞在制作

- 2014 International Artist-In=Residence, Artpace, テキサス州サン・アントニオ
- 2006 横浜美術館アーティスト・イン・ミュージアム (AIMY)

パブリック・コレクション

- ・ギメ東洋美術館
- ・ボストン美術館
- ・ハーシュホーン美術館／スミソニアン博物館
- ・東京国立近代美術館
- ・サンフランシスコ近代美術館
- ・東京都写真美術館
- ・MAST財団
- ・愛知県美術館
- ・エリセ美術館
- ・ピーボディ・エセックス博物館
- ・フランス写真美術館
- ・川崎市市民ミュージアム

- ・アドリアン・メンティエン美術館
(収蔵数順)

フィルムグラフィ

- 2016 『オシラ鏡』 (20min/カラー/DCP/ 5.1ch)
2014 『49 PUMPKINS』 *サン・アントニオ市アートペースによる委嘱作品

単著

- ・『MONUMENTS』[写真集]、PGI、2015年
- ・『ドイツ 丘の上の小さなハカセ クラース』 (「世界のともだち」シリーズ) 偕成社、2015年
- ・『EXPOSE』[雑誌]、EXPOSE同人、2014年-
- ・『Here and There - 明日の島』[写真集]、KAGAMI、2012年
- ・『制作日誌『拾日録』より』[テキスト]、私家本、2012年

共著

- ・『3.11を心に刻んで 2018』 (岩波ブックレット)、岩波書店、2018年

カタログ

- ・「Bright was the Morning / ある明るい朝に」横浜市民ギャラリーあざみ野、2017年
- ・「Evidence Case File: ?The Image as Question: An exploration of evidential photography」GUIDING LIGHT、2016年
- ・「The Memory of the Future」Musée de l'Elysée Lausanne、2016年
- ・「DUBAI PHOTO」Dubai Photo、2016年
- ・「In the Wake: 日本の写真家がとらえた3.11」青幻舎、2015年
- ・「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」ボストン美術館、2015年
- ・「これからの写真」愛知県美術館、2014年
- ・「六本木クロッシング2013:アウト・オブ・ダウト展」森美術館、2013年
- ・「百の太陽に灼かれて/EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」尼崎文化センター、2013年
- ・「写真の現在4」東京国立近代美術館、2012年
- ・「Immemorial Foreseeing - 遠い昔の予感」Fellini Gallery、上海、2010年
- ・「Héritages de Daguerre」Association Louis Daguerre、フランス、2010年

著述文献

- ・『現代詩手帖』2017-2019年 [連載:表紙、エッセイ]
 - 2019年11月号 新井卓『陽の光あるうちに』(31) だれでもない夜、一人で
 - 2019年10月号 新井卓『陽の光あるうちに』(30) Inframince/どこにもいない
 - 2019年9月号 新井卓『陽の光あるうちに』(29) 一斗缶幻想——沖縄にて
 - 2019年8月号 新井卓『陽の光あるうちに』(28) 坂のある街で
 - 2019年7月号 新井卓『陽の光あるうちに』(27) 密林の黒い水
 - 2019年5月号 新井卓『陽の光あるうちに』(26) 根を持たないこと
 - 2019年4月号 新井卓『陽の光あるうちに』(25) 彼岸の太陽
 - 2019年3月号 新井卓『陽の光あるうちに』(24) イマーゴー
 - 2019年2月号 新井卓『陽の光あるうちに』(23) 冬の客
 - 2019年1月号 新井卓『陽の光あるうちに』(22) ステュクス/彼岸からの旅、此岸への旅
 - 2018年11月号 新井卓『陽の光あるうちに』(21) 猫たち
 - 2018年10月号 新井卓『陽の光あるうちに』(20) 悪魔の舌 (後編)

- 2018年9月号 新井卓『陽の光あるうちに』(19) 悪魔の舌 (前編)
- 2018年8月号 新井卓『陽の光あるうちに』(18) 明るい部屋
- 2018年7月号 新井卓『陽の光あるうちに』(17) わたしたちは歩くことに決めた
- 2018年6月号 新井卓『陽の光あるうちに』(16) コロニアル／川岸にて
- 2018年5月号 新井卓『陽の光あるうちに』(15) 鳥たち
- 2018年4月号 新井卓『陽の光あるうちに』(14) 渚にて
- 2018年3月号 新井卓『陽の光あるうちに』(13) Yongsan、1999
- 2018年2月号 新井卓『陽の光あるうちに』(12) 草陰の小径で
- 2017年11月号 新井卓『陽の光あるうちに』(11) 根付の国の身体へ
- 2017年10月号 新井卓『陽の光あるうちに』(10) O駅
- 2017年9月号 新井卓『陽の光あるうちに』(9) 地図
- 2017年8月号 新井卓『陽の光あるうちに』(8) 維管束 (ファシクル)
- 2017年7月号 新井卓『陽の光あるうちに』(7) ミセス・レイコ・ブラウン
- 2017年6月号 新井卓『陽の光あるうちに』(6) 在りし日の写真について
- 2017年5月号 新井卓『陽の光あるうちに』(5) ショーン・ビゲイのアトリエ
- 2017年4月号 新井卓『陽の光あるうちに』(4) いつか、家へ、砂漠へ
- 2017年3月号 新井卓『陽の光あるうちに』(3) ロプロブまたは夢の慈悲心鳥
- 2017年2月号 新井卓『陽の光あるうちに』(2) 路上で
- 2017年1月号 新井卓『陽の光あるうちに』(1) 冬の日
- ・「水牛のように」2017年-現在 [連載：エッセイ] <http://suigy.com>
 - ・「百の太陽を探して」 [連載：エッセイ] 小さな雑誌, 岡村幸宣 (丸木美術館学芸員) 編、2013年- 現在
 - ・「Sharing Individual Memories on Micro-Monuments: Daguerreotype and New Narratives for the Atomic Age」東アジア環境史学会 (Association for East Asian Environmental History), 南海大学, 2018年10月26日
 - ・「銀板写真で「核の記憶」を追う」ナショナル ジオグラフィック日本版, 2017年3月号
 - ・「新しいモニュメントの到来のために：後編」極小の記念物 (マイクロ・モニュメント) の時代」 [論考] (『岩波』3月号、2017年)
 - ・「新しいモニュメントの到来のために：中編」わたしたち<非当事者>たちのための物語」 [論考] (『岩波』2月号、2017年)
 - ・「新しいモニュメントの到来のために：前編」銀板写真／呪物／マイクロ・モニュメント」 [論考] (『岩波』1月号、2017年)
 - ・「特集17：明日の歴史のために——ダゲレオタイプで写す、十七歳の肖像」 [エッセイ] (『すばる』1月号、2017年)
 - ・「もう一度、見ることの困難さとともに」 [エッセイ] (『すばる』10月号、2016年)
 - ・「MONUMENTS (ダゲレオタイプ写真) [写真家] 新井卓」 [作品、テキスト掲載] (『グラフィケーション電子版』6号 (2016年10月号))
 - ・「Shigeo Gocho 1946-1983」 [書評] (『Camera Austria』132号、2016年)
 - ・「No Nukes ヒロシマ ナガサキ フクシマ」 [作品掲載] 講談社、2015年
 - ・「TEN YEARS OF PICTURE POWER 写真の力」 [作品、テキスト掲載] CCCメディアハウス、2014年
 - ・「震災と「核」をダゲレオタイプで撮り続けて」 [作品、テキスト掲載] (『Newsweek日本版』インターネット版「Picture Power」2016年4月)
 - ・「新井卓 ダゲレオタイプで記憶をとらえる」 [特集] (『芸術新潮』2015年12月号)
 - ・「遠野、早池峰への旅」 [エッセイ] (『春秋』2014年1月号)
 - ・「ダゲレオタイプピスト、新井卓」 [インタビュー] (『PHaT PHOTO』vol.79、2013年、1-2月号)
 - ・「新井卓銀板写真」 [エッセイ] (毎日新聞阪神版 2013年5月)
 - ・『談』96号 (TASC) pp. 33,51,69,82-83、2013年 [作品、テキスト掲載]
 - ・「願いを込めて銀板に刻む被災地の記憶」 [作品／テキスト掲載] (Newsweek日本版、2012年3月21日「Picture Power」欄) pp.64-67
 - ・『辞書のほん』vol.5 (大修館書店) [作品／テキスト掲載]、pp.3-6、2011年
 - ・「Arai Takashi: a Daguerreotypical Man」 [インタビュー、作品掲載] (『声 ko-e』2011年9-10月号) pp.3-1
 - ・「新井卓 - Mirrors in Our Nights／夜々の鏡」 [インタビュー] (『Researching Photography』) url: <http://researchingphotography.blogspot.com/> 2011年
 - ・「ろうそくの炎がささやく言葉」 [詩集] (勁草書房) 表紙、あとがき、2011年

- ・「まなざすこと、希うこと」[エッセイ]（『春秋』2011年4月号）pp.12-15
- ・「鏡の両岸で出会うこと」[エッセイ]（『春秋』2011年1月号）pp.14-18
- ・「From the World」[展評]（『PHaT PHOTO』2009年10-11月号）
- ・「鏡、リフレクション、イメージ ダゲレオタイプについて」[エッセイ、作品掲載]（『談』No.82、TASC）pp. 17、51、85、101-103、2008年
- ・「世界初ダゲレオタイプで切り取る独特の光と影」[インタビュー]（『多摩人』2009年秋号）

主な関連文献

- ・ Hinman, Tim 「Tick Tock Tokyo」 Sound Matters Podcast, Bang & Olufsen,
<https://journal.beoplay.com/journal/sound-matters>
- ・ 安楽由紀子「ダゲレオタイプにしか写らないもの 新井卓」kotoba, 集英社, 2018年秋号
- ・ ヒントン実結枝「新しい神話—未来に遺すダゲレオタイプ 新井卓 インタビュー」[インタビュー] 創造都市横浜, 2018年2月16日, <http://yokohama-sozokaiwai.jp/person/17084.html>
- ・ Whatley, Katherine 「Through the lens: Japanese photographers explore nuclear narratives」[論考] The Japan Times, 2018年5月19日
- ・ Sweet, Matthew 「The Sun, 570 Meters, Hiroshima」 Takashi Arai, 2014」 [評論] NewsWeek、pp. 64、2017年5月5日号
- ・ Strecker, Alexander 「Storing Memories: Contemporary Japanese Daguerreotypes」 [論考] Lensculture、2016年
- ・ Yoshitake, Mika 「Takashi Arai: Silver Plated」 [論考] Exposure、Society for Photographic Education、2015年秋号
- ・ Goldberg, Vicki. 「Japanese Photographers Reflect on the Fukushima Catastrophe」 [展評] The New York Times、2015年6月19日
- ・ Feeney, Mark 「At the MFA, Japanese photographers on the 2011 earthquake, tsunami」 The Boston Globe、2015年4月9日 [展評]
- ・ Bohr, Marco, et al. 「Takashi Arai: Exposed in a Hundred Suns」 [特集] The Source Magazine、2015年11月号
- ・ 飯沢耕太郎 「新井卓 Exposed in a Hundred Suns」 [展評] artscapeレビュー、2014年9月15日号
http://artscape.jp/report/review/10102502_1735.html
- ・ John L. Tran 「Between darkness and light」 [評論] The Japan Times、2014年9月4日
- ・ Marco Bohr 「Takashi Arai's Photographic Monuments to a Manmade Disaster」 [評論] Visual Culture Blog、2014年4月23日
- ・ Claudia Sarmiento 「Em Fukushima, a alquimia que revela um drama moderno」 [評論] O Globo、2014年4月12日
- ・ 岡村幸宣『非核芸術案内—核はどう描かれてきたか』岩波ブックレット、岩波書店、2013年
- ・ 「JAPANESE ART PHOTOGRAPHERS 108」（『IMA』、2012年冬号）
- ・ 片岡秀子「Japan - Takashi Arai, Tetsuya Higashikawa」[評論]（『 코리아・フォト・マンスリー』2012年10月号）
- ・ 岡村幸宣「非核×芸術案内：福島希望、自然美」[評論]（『東京新聞』夕刊 2012年8月16日）
- ・ 金村修「写真のハードコア_01」[評論]（『日本カメラ』2012年8月号）
- ・ 島貫泰介「展評'12<写真の現在4 そのときの光、そのさきの風>」[展評]（『アサヒカメラ』2012年8月号）
- ・ 上野修「写真の現在4 そのときの光、そのさきの風」[展評]（『アサヒカメラ』2012年7月号）
[展評]（『アサヒカメラ』2012年7月号）
- ・ 竹内万里子「写真家とは、という問い」[展評]（高知新聞、南日本新聞ほか 2012年7月2日～）
- ・ 手塚さや香「見せ方へのこだわり」[展評]（毎日新聞 2012年6月19日）
- ・ 飯沢耕太郎「写真の現在4」[展評]（『artspace』2012年6月2日）
- ・ 伊藤俊文「福島から広がる視線2」[展評]（『MAINICHI RT』毎日新聞日曜版、2012年7月26日）
- ・ 岸桂子「連続個展とシンポで「写真と大震災」考える」[展評／作品掲載]（『毎日新聞』夕刊 2012年2月20日）

- ・「Takashi Arai: a Daguerreotypical Man」[評論] (『ko-e』2011年9-11月号)
- ・調文明「展評'11<新井卓「EXPOSE 死の灰」展 西澤諭志「ドキュメンタリーのハードコア」展>」[展評] (『アサヒカメラ』2011年7月号)
- ・竹内万里子「新井卓の個展「光、礫、水」複製不可能な写真と向き合う」[展評] (『北海道新聞』2011年3月25日朝刊ほか)
- ・管啓次郎「QUICKSILVER」[詩]、(『光、礫、水』(小冊子)2011年1月)
- ・倉石信乃「異数の鏡—新井卓のダゲレオタイプについて」(『光、礫、水』(小冊子)2011年1月)
- ・伊藤貴弘「鏡から窓へ—うつろいゆくダゲレオタイプ」(『光、礫、水』(小冊子)2011年1月)
- ・天野太郎「「美術館の中の写真館」によせて」[コメント] (『美術館の中の写真館』展覧会パネル、2011年1月)
- ・「横浜美術館で写真展「しあわせの肖像展」-家族写真を紹介」[展評] (『ヨコハマ経済新聞』2011年2月10日)
- ・「あなたの家族写真、カフェに展示いかが」横浜美術館募る」[展評] (『朝日新聞』2011年1月7日朝刊)
- ・竹内万里子「Notes sur l' "heureux échec" de la photographie, et sur les possibilités au présent」[批評] (『Infra Mince N° 5』アルル国立写真専門学校、2009年)
- ・比嘉良治「ダゲレオタイプは写真の救世主か!?!」[展評] (『日本カメラ』5月号) pp.234
- ・「1枚の写真、広がる話」[展評] (『朝日新聞』2008年11月4日朝刊)
- ・Claire Barliant「Koganecho Bazaar, Yokohama」[展評] (『MODERN PAINTERS』2008年9月1日)
- ・谷口雅「黄金町バザール」[展評] (『GRAPHICATION』No.159、富士ゼロックス、2008年) pp.46
- ・平倉圭「<湖>へ—新井卓の風景写真」[展評] (『Toward Lakes, 湖へ』チラシ、2008年)
- ・「19世紀のカメラで撮った」[展評] (『朝日新聞』2007年12月17日朝刊)
- ・小林美香「ケータイとダゲレオタイプ」[エッセイ] (『Eニコールクラブ』2007年)
- ・竹内万里子「写真展-この一年」[展評] (『写真年鑑2006』2007年5月15日) pp.85

主なシンポジウム／学会発表／講演

- ・『第5回東アジア環境史学会 (EAEH 2019)』成功大学、台南、2019年10月24-27日 [“Anima Philosophica: Nature, Disaster, and Animism in Japan” パネル]
- ・『第15回東アジア国際科学史学会 (ICHSEA 2019)』全北 (チョンブク) 大学、全州、2019年9月19-23日 [パネル]
- ・『肖像写真から聞こえる声——物語の〈余剰〉をめぐる』日本オーラルヒストリー学会シンポジウム「ビジュアル・オーラル・ヒストリーの可能性と現在」、大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス、2019年3月10日 [講演]
- ・『UGAT (Anthropological Association of the Philippines)』パラワン州立大学、2018年11月8-10日 [パネル]
- ・『第4回東アジア環境史学会 (AEAEH 2017)』南海大学、天津、2017年10月26-31日 [パネル]
- ・『Artist Talk: Takashi Arai』アジア・ソサエティ、ヒューストン、2016年12月4日 [講演]
- ・『もう一度、<見る>ことの困難さとともに』日本写真芸術学会 写真プリントセミナー、2016年11月25日 [講演]
- ・「『遠野物語』の新時代——平地人を戦慄せしめよ——」遠野文化フォーラム、2016年8月21-22日 [パネル]
- ・『In the Shades on Mirrors: Daguerreotypes as Micro-Monuments for the Atomic Age』J.ポール・ゲティ美術館、2015年11月5日 [講演]
- ・『Exposed in a Hundred Suns: US-Japan Nuclear Legacies and the New Daguerreotypes as Micro-monuments』The Society for Photographic Education、ニューオリンズ、2015年3月14日 [講演]
- ・『写真とことば、記憶の種 福島—東京』世田谷生活工房、2014年5月 [シンポジウム]
- ・『IO-1』The Center for Alternative Photography、ニューヨーク、2013年4月3日 [講演]
- ・『Fukushima Now』Bay Area Artists for Japan、Kala Art Institute、パークレー、2013年3月31日 [パネル]
- ・『ダゲレオタイプ、新しいモニュメントの到来のために』[講演] APIS Tokyo 2012、日本大学、2012年9月8日

- ・『写真の現在4』[講演] 東京国立近代美術館、2012年7月21日
- ・『写真とことば』[パネル] ニコンプラザ新宿、池澤夏樹（小説家）、鷺尾和彦（写真家）、竹内万里子（写真批評家）、新井卓、2012年3月16日
- ・『いま、なぜダゲレオタイプなのか?』[講演] PHOTO NEXT 2010 日本写真学会セミナー、2010年6月29日 日本写真学会主催、東京ビッグサイト
- ・『イメージと現実をめぐるシンポジウム／詩人・吉増剛増氏を招いて』[パネル] 2003年12月20日 慶応義塾大学来往舎、横浜

講義とワークショップ

2019/10-12月

BankArt スクール「〈見る〉ことをあきらめないための写真と言葉」（市民講座）

2018/10/20

ハートフォード美術学校（レクチャー）

2018/6/27

「Sharing Memoties on Micro-Monuments: Photographs as Image-Objects and New Narratives for the Atomic Age」レイクランド大学（公開レクチャー）

2018/4/4

「環境史研究会：核の時代を写真はどうかとらえてきたのか——豊崎博光と新井卓の理論と実践」京都大学人文科学研究所（レクチャー）

2018/2/7

「写真について」バンカートスクール（レクチャー）

2016/9/11

Photofairs 上海「Our Monuments: Daguerreotype for the Age of New Mythology」（レクチャー）

2016/4/7

ケンタッキー大学レキシントン校（レクチャー）

2016/4/5

ネブラスカ大学リンカーン校（レクチャー）

2016/4/4

メトロポリタン・コミュニティ・カレッジ、オマハ（レクチャー）

2015/12/7

東京藝術大学写真センター（レクチャー）

2015/11/31-12/3

清华大学芸術学部、北京（ワークショップ、レクチャー）

2015/7/13

明治大学、学部間共通講座「作る人になろう」（レクチャー）

2014/4/28

明治大学、学部間共通講座「作る人になろう」（レクチャー）

2013/8/10

東川国際写真フェスティバル（レクチャー）

2013/4/24

明治大学、学部間共通講座「作る人になろう」（レクチャー）

2013/2/10,17

横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜芸術文化振興財団主催、横浜（ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション）

2012/12/15

京都造形芸術大学、京都（公開講義）

2012/9/28

「福島から遠く離れて」、明治学院大学国際平和研究所、東京（レクチャー）

2012/6/7

東京藝術大学先端芸術表現科, 上野 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2012/3/28

テンブル大学東京キャンパス, 東京 (19世紀写真と制作活動についてのレクチャー)

2012/3/28

テンブル大学東京キャンパス, 東京 (19世紀写真と制作活動についてのレクチャー)

2011/11/17

早稲田大学文学学術院, 東京 (19世紀写真と制作活動についてのレクチャー)

2010/7/11,18-19

横浜美術館×横浜市民ギャラリーあざみ野企画「シリーズ・写真史を体感する」第1期：写真の誕生 カメラ・オブスクー
ラとダゲレオタイプ (ダゲレオタイプ・ワークショップ)

2010/6/18-21

听墨图片研究室, 北京, 中国 (ダゲレオタイプ・ワークショップ)

2009/11/28

東京総合写真専門学校, 横浜 (ダゲレオタイプ特別授業、講師)

2009/11/6-8

Project Basho, フィラデルフィア (ダゲレオタイプ・ワークショップ)

2009/7/26

東京総合写真専門学校, 横浜 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2009/7/9

テンブル大学東京キャンパス, 東京 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2009/6/18

東京藝術大学先端芸術表現科, 取手 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2009/4/21

群馬県立女子大学英文学科, 高崎 (リレー講義講師/初期写真史についてのレクチャー)

2009/3/15

“The Lure of Reflection” Project Basho, フィラデルフィア (公開プレゼンテーション、ダゲレオタイプ・デモ)

2009/3/13

Moore Collage of Art & Design, フィラデルフィア (ダゲレオタイプについてのレクチャー、ワークショップ)

2009/2/4

お茶の水女子大学, 東京 (ダゲレオタイプ・デモンストレーション)

2008

東京藝術大学先端芸術表現科, 取手 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2007

横浜市民ギャラリーあざみ野, 横浜芸術文化振興財団主催, 横浜 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレー
ション)

2007

立教大学, 新座 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2007

東京藝術大学先端芸術表現科, 取手 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2006

横浜美術館, 横浜 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)